

令和5年度 長野市消防局運営方針

～ 各種災害に立ち向かう 力強い「ながの」の消防 ～

《組織目標》

安全で安心して暮らせるまち「ながの」を実現するため、力強い消防体制を構築します

《基本方針1》 迅速・的確な消防体制を構築します

- 大規模災害・特殊災害への対応強化
- 増大する救急需要への対応
- 通信指令体制の強化
- 消防庁舎の長寿命化改修



静岡県熱海市土砂災害現場での活動

《基本方針2》 地域防災力の充実強化を目指します

- 自主防災組織への支援と活動強化
- 安定した消防団体制の構築
- 効果的な広報による火災被害の軽減
- WEB救急講習の活用による応急手当の普及



全国消防操法大会
長野市消防団初出場
(小田切分団)



がんばろう長野
Go for it NAGANO!



《基本方針1》

迅速・的確な消防体制を構築します

1 大規模災害・特殊災害への対応強化

- ▶ 近年市内で増えているマンション等の高層建物火災が発生した場合において、迅速な消火・救助体制を強化するため、最新型のはしご車に更新します。
- ▶ 地下室や大規模工場での火災に対応するため、化学車を最新の車両に更新します。
- ▶ 大規模災害時に、長時間にわたり活動する隊員の装備品の充実を図り、被災地での支援・救助活動に最大限の力を発揮できるようにします。
- ▶ 増加する山岳事故への救助体制を検討します。
- ▶ 新基準の耐熱・耐炎性能に適合した防火衣を導入し、隊員の安全の向上と活動能力の向上を図ります。
- ▶ 化学薬品の漏洩事故やテロ災害等に対応するため、高度な機材を駆使して、現場活動の強化を図ります。



最新型はしご車 (※イメージ)



最新型化学車 (※イメージ)



新基準防火衣



化学剤の判定装置

2 増大する救急需要への対応

- ▶ 安定した救急体制維持のため、救急隊員の感染防止用資機材等を整備し、高規格救急車の更新を行います。
- ▶ 医療機関と連携して救急救命士の研修を行い、技術の質を確保することで、救命率の向上を目指します。
- ▶ 増大する救急需要に対応するとともに、救急サービスを向上させるため、中心市街地における救急隊を増隊し、効果の検証を行います。



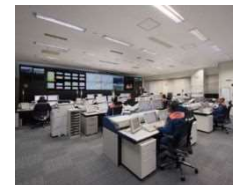
モニター付きの医療機器
(ビデオ喉頭鏡)



救急ワークステーション

3 通信指令体制の強化

- ▶ 年間3万件近い119番通報を受信している「高機能消防指令情報システム」を確実に運用するために、令和6年度から予定しているシステム更新に向けて設計を行います。
- ▶ 近隣消防本部との指令業務の共同運用について、具体的な協議を実施します。



4 消防庁舎の長寿命化改修

将来にわたり防災拠点としての役割を維持するため、消防庁舎の長寿命化のために改修工事を行います。



改修された女性用仮眠室

《基本方針2》

地域防災力の充実強化を目指します

1 自主防災組織への支援と活動強化

- ▶ 自主防災組織への補助金制度の積極的な広報を行い、共助による避難誘導體制を確立するため、避難誘導に必要な防災器材の整備促進を図ります。



避難誘導器材の例

- ▶ 地域実情に応じた訓練指導及び防災研修を実施することで、自主防災訓練の実施率の向上を図ります。また、訓練を通じて、消防団・民生委員・各種団体等との連携の強化を図ります。

2 安定した消防団体制の構築

- ▶ 持続可能な組織運営のため、主に大規模災害時に消防団活動を行う「大規模災害団員制度」を推進します。
- ▶ 現場指揮本部の資機材や夜間作業用の大型照明器具を整備し、署隊と方面隊の共同訓練等により指揮機能の強化を図り、導入する資機材の運用訓練を行い部隊強化を図ります。
- ▶ 研修会や訓練を通じ、自主防災組織等との連携を図ります。



3 効果的な広報による火災被害の軽減

- ▶ 時季ごとに火災原因を反映した広報テーマを設定し、ホームページやメディアとの連携など多角的な広報手段により、火災の防止を図ります。
- ▶ 住宅火災による被害軽減のため、ライフライン事業者と連携し、住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理を重点的に進めます。



4 WEB救急講習の活用による応急手当の普及

パソコンやスマートフォンなどを用いて応急手当の基礎的な知識を手軽に学ぶことができる「応急手当WEB講習」等を活用することで、受講者数を増やし、市民の救命に対する意識の高揚と応急手当の普及を図ります。



長野市消防局 WEB講習

検索